

問1 中部地方における農業の統計において、農業産出額に占める「米」の割合が58.7%と極めて高く、広大な平野を活用した稲作が産業の大きな柱となっている県はどこですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 新潟県 2. 長野県 3. 愛知県 4. 岐阜県

問2 日本の地方区分において、本州の中央部に位置し、県庁所在地である名古屋市を擁する愛知県が含まれる地方の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 山口公立入試 類似）

1. 中部地方 2. 近畿地方 3. 関東地方 4. 東北地方

問3 新潟県上越市のように、12月や1月の降水量が月間400mm近くに達し、夏場の降水量を大きく上回る地域で見られる気候のメカニズムとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 沖縄公立入試 類似）

1. 冬に湿った北西の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかって雪を降らせるため。 2. 夏に南東の季節風が太平洋から湿った空気を運び、脊梁山脈によって上昇気流が発生するため。 3. 一年を通して温暖な黒潮の影響を受け、冬でも発達した低気圧が頻繁に通過するため。 4. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、山脈を越えてフェーン現象を引き起こすため。

問4 日本の気候区分において、日本海側の地域に位置する新潟市などは、一月や十二月といった冬季の月降水量が二百ミリメートルを超えることがあり、太平洋側の都市と比較して非常に多いという特色があります。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 冬に北西から吹く湿った季節風が、日本の中心部にある山脈にぶつかって上昇するため 2. 冬に太平洋側から吹く乾燥した季節風が、日本海を渡る際に上昇気流を発生させるため 3. 夏に南東から吹く湿った季節風が、高い山々を越えて日本海側に吹き降ろすため 4. 一年を通じて暖流の影響を強く受け、冬でも日本海上で低気圧が発達しやすいため

問5 中部地方のある県の統計において、人口が約八十五万人と比較的少なく、農業産出額に占める果物の割合が野菜や米を大きく上回っている県があります。この県の農業の特色について説明したものととして正しいものはどれですか。（2016年 兵庫公立入試 類似）

1. 扇状地を利用してぶどうなどの生産が盛んであり、消費者に収穫体験を提供する観光農園も多く見られる。 2. シラス台地が広がる地形を活かして、さつまいもの生産や畜産業が大規模に行われている。 3. 日照時間が長い沿岸部の傾斜地を利用して、茶の栽培が盛んに行われ、全国的なブランドとなっている。 4. 高冷地でのレタスやキャベツの栽培が中心で、保冷トラックを用いて大消費地へ出荷している。

問6 長野県は中部地方の内陸部に位置し、かつては時計やカメラなどの精密機械工業が盛んでした。この伝統的な技術的背景を基盤として、現在、県の製造品出荷額等で最も大きな割合を占めている工業分野を選択してください。（2018年 高山県公立入試 類似）

1. 電子部品・デバイス工業 2. 食品工業 3. パルプ・紙工業 4. 鉄鋼業

問7 北陸地方の工業について述べた次の文の空欄にあてはまるものとして、最も適切な語句を答えてください。「中部地方の日本海側に位置する福井県では、県北部の嶺北地方を中心に地場産業が発達している。特に鯖江市周辺では、明治時代に農閑期の副業として始まった（ ）の製造が、現在では国内シェアの約9割を占めるまでに成長している。」（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 眼鏡のフレーム 2. パルプ・紙 3. 陶磁器 4. 西陣織

問8 富山県富山市は、路面電車（LRT）などの公共交通を軸とした「お団子と串」に例えられる都市づくりを進めていることで知られています。この都市づくりにおける「公共交通の活用」に関する記述として、誤っているものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 既存の鉄道の利便性を高め、駅周辺の徒歩圏内に居住や都市機能を誘導している。 2. 公共交通の沿線に居住する市民に対し、補助金を出すなどの優遇策を設けて集約を図っている。 3. 都市機能の郊外への分散をさらに推奨し、自家用車による移動時間を短縮させる道路網を整備している。 4. 路面電車の新型車両導入や路線の接続改善を行い、高齢者や車椅子利用者でも乗り降りしやすい環境を作っている。

問9 本州の中央部から日本海側へと流れ、その長さが日本で第1位である河川の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 和歌山公立入試 類似）

1. 信濃川 2. 利根川 3. 石狩川 4. 木曾川

答え合わせ・解説

問1	答え 1 新潟県	信濃川などが形成した越後平野は日本有数の稲作地帯であり、冬の積雪がもたらす豊かな水資源を利用して大規模な米作りが行われています。そのため、農業産出額に占める米の割合が他県に比べて突出して高いのが特徴です。これに対し、長野県は高原野菜や果実、愛知県は工業や施設園芸に特色があります。
問2	答え 1 中部地方	日本を7つの地方に区分する場合、本州の中央部に位置する地域を中部地方と呼びます。愛知県はこの地方に属しており、県庁所在地の名古屋市は中部地方最大の都市として、経済や交通の要所となっています。近畿地方は三重県以西、関東地方は神奈川県以東を指します。
問3	答え 1 冬に湿った北西の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかって雪を降らせるため。	冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出します。この風が、暖流である対馬海流が流れる日本海を渡る際に大量の水蒸気を蓄えます。水分を含んだ湿った空気が日本の脊梁山脈にぶつかって上昇することで、日本海側の地域に雪や雨として大量の降水をもたらします。これにより、冬の降水量が夏よりも極めて多い日本海側の気候が形成されます。
問4	答え 1 冬に北西から吹く湿った季節風が、日本の中心部にある山脈にぶつかって上昇するため	冬になると、ユーラシア大陸から日本海に向かって冷たく湿った北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、日本の背骨にあたる高い山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大量の雪や雨をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では晴天の日が多くなります。
問5	答え 1 扇状地を利用してぶどうなどの生産が盛んであり、消費者に収穫体験を提供する観光農園も多く見られる。	統計に示された人口規模や農業産出額の内訳から、この県は山梨県であると判断できます。山梨県はぶどうや桃の生産量が日本トップクラスであり、その多くは甲府盆地周辺の扇状地で栽培されています。また、東京などの大都市圏に近い立地を活かし、単に生産・出荷するだけでなく、消費者が直接訪れて果物狩りを楽しむ「観光農園」が数多く運営されていることも大きな特徴です。
問6	答え 1 電子部品・デバイス工業	長野県では、戦前から戦後にかけて培われた時計やレンズといった精密機械工業の高度な加工技術が、時代の変化とともに電子部品やデバイスの製造に応用されました。内陸部という地理的条件において、製品が小型で軽量であり、高速道路を利用した輸送に適していることや、製造過程で不可欠な清浄な水と空気という環境が整っていたことが、この産業が県内最大の出荷額を誇るまでに発展した要因です。
問7	答え 1 眼鏡のフレーム	福井県の鯖江市は、日本国内で生産される眼鏡のフレームの大部分を製造する日本最大の産地です。明治時代に、冬の積雪で外仕事ができない時期の副業として始まったものが、後に技術革新を重ねて世界的なブランドを支える一大産業へと発展しました。
問8	答え 3 都市機能の郊外への分散をさらに推奨し、自家用車による移動時間を短縮させる道路網を整備している。	富山市の取り組みは、郊外への無秩序な市街地の拡大（スプロール現象）を抑制し、拠点（お団子）と公共交通（串）の形に都市を再構築するものです。郊外への分散を推奨することは、公共交通の衰退や中心市街地の空洞化、さらには行政コストの増大を招くため、コンパクトシティの考え方とは相反します。
問9	答え 1 信濃川	長野県から新潟県へと流れるこの河川は、全長約367kmに達する日本で最も長い川です。長野県内では「千曲川」と呼ばれます。よく混同される利根川は、流域面積（川が雨水を集める範囲）が日本で第1位の河川であり、太平洋に注いでいます。